2 選挙の概要

令和元年7月28日の任期満了に伴う第25回参議院議員通常選挙（以下「通常選挙」という。）は、7月4日に公示され、7月21日に投票が行われた。本年4月に執行された統一地方選挙とともに、12年に一度のいわゆる「亥年選挙」としても位置づけられ、その動向に注目が集まることとなった。

今回の通常選挙は、公職選挙法の改正により議員定数が242人から248人へと改正（比例代表が96人から100人、選挙区が146人から148人へと定数改正）された後の初の選挙であり、その半数の議席が争われることとなった。

なお、上記以外にも次の各項目につき、制度改正等がおこなわれた。

●投票管理者及び投票管理者職務代理者並びに投票立会人の選任要件の緩和

市町村の選挙管理委員会は、投票管理者及び投票管理者職務代理者並びに投票立会人を、選挙権を有する者の中から選任するものとされた。

●選挙公報の掲載文の電磁的記録による提出

選挙公報の掲載文を電磁的記録により提出することが可能とされた。

●参議院比例代表選挙における特定枠制度の導入

参議院比例代表選挙について、候補者の顔の見える、国民が当選者を決定する選挙とする観点から導入された非拘束名簿式を基本的に維持しつつ、全国的な支持基盤を有するとはいえないが国政上有為な人材あるいは民意を媒介する政党がその役割を果たす上で有為な人材が当選しやすくなるよう、「優先的に当選人となるべき候補者」を他の名簿登載者と区別して表示できる特定枠制度が導入された。

●在外選挙人名簿登録における出国時申請制度の創設

転出届提出時に、市町村の選挙管理委員会に対して、在外選挙人名簿への登録の移転の申請を行うことができることとされた。

大阪市選挙管理委員会トピックス

- 本市における投票率は、参議院選挙区選出議員選挙では48.79%となり、前回の51.89%と比較すると3.1ポイント下がるという結果であった。しかしながら、全国平均の48.80%とほぼ同率であり、府平均の48.63%を上回る結果となった。